

## Christian Tschida

### クリスチャン・チダ

地域：Neusiedlersee ノイジードラーゼー

オーナー：Christian Tschida クリスチャン・チダ

地区、村：Illmitz イルミッツ

HP: <http://www.tschidailmitz.at/>



#### ドメーヌ解説：

長い熟成年月のため、価格は当然ながら高額だが、人為を排したのびやかさ、広がりとお行を感じさせる酒質には驚くべき説得力と魅力があり、即座に取り扱い開始。オーストリアワインという枠をこえ、ラシーヌの全扱いワインを代表するワインのひとつです。

チダ家は数世代にわたり、この地でブドウ栽培をしてきましたが、クリスチャンの父君はかなり強い味わいの赤ワインを造っていました。クリスチャンはグラフィックデザイナーの仕事をしていましたが、2007年に10haの畑を継ぎました。彼はまるでにわかに現れた雷のように仕事をし、1年以内で全てを「クリスチャン・チダ流儀」に造り変えてしまいました。ノンフィルターナチュラルな造りで、ハーブ香を感じさせる、軽やかでフレッシュだがエネルギッシュなワインを造ったのです。

近年はもっぱら夜間にブドウ畑の防除作業を行い、収穫を行っています。

「私が常々考えていることは、“Laissez Faire”「レッセ・フェール」、自由放任です。古木のポテンシャルをひきだし、静かに成り行きに任せること、これをモットーに、ワインをそっと静かにしておきます。そうすることで、彼らは内面的バランスに到達するのです」

「栽培醸造学校に通ったことはなく、父と祖父、そして、ロワールとブルゴーニュでの滞在から、ワイン造りを学びました。人々にエネルギーを与え、心を楽しませる純粋なワインを。」

このようにクリスチャンは述べています。

#### 畑について

**栽培方法：** ビオロジック（月カレンダーに基づいて栽培）

-栽培方法の将来的な展望：栽培方法は同じであっても、ブドウ樹は樹齢を重ね、根はより地中深くなることで、安定してきます。ワインは年を追うごとにエレガントになっていくでしょう。

**認証機関：** LACON

**土壌：** 砂利、粘土、石灰岩からなる土壌

**栽培面積：** 10ha

**自社栽培ブドウ品種：** （白）ショイレーベ、ヴァイスブルグンダー、グリュナー・ヴェルトリーナー、ミュスカ  
（赤）ツヴァイゲルト、ブラウフレンキッシュ、カベルネ・フラン、シラー

**ブドウ以外の自社農作物・家畜：** 子羊、ガチョウ、アヒル、雄鶏

**ブドウ畑以外の自社畑総面積：** 14ha